

Q9

水痘の皮内抗原について、具体的に教えてください。

A

水痘を予防するためには、液性免疫と細胞性免疫の両方が必要とされています。免疫の測定方法には免疫粘着赤血球凝集反応 (IAHA法) 等の血清学的検査と水痘-帯状疱疹ウイルスに対する細胞性免疫機能を調べるための皮内テストなどがあります。皮内抗原は水痘抗原による皮内テストに用いる診断用抗原で、弱毒生水痘ウイルス (岡株) をヒト二倍体細胞 (MRC-5) で培養増殖させ、その培養液を加熱処理し超遠心等の操作を加え、TCM-199で希釈した液剤です。水痘の細胞性免疫機能を測定する目的で開発され、市販されています。皮内テストによる24~48時間後の判定結果は抗体価とよく相関しています。接種方法は、水痘抗原液0.1mLを皮内に注射し、24時間後に判定します。発赤の直径4 mm以下：陰性：(-)，発赤の直径5 mmから9 mmまで：陽性：(+)，発赤の直径10mm以上：中等度陽性：(++)，発赤の直径10mm以上で硬結に二重発赤を伴うもの：強陽性：(+++)と判定しますが、24時間後に陰性であった場合は、さらに48時間後に判定します。